

交渉情報	NO.38	信越支社郵便事業本部 集配部
JP労組 信越地方本部	2012年10月24日	添付資料:1枚

「集配業務全社員年賀」の試行実施について

信越支社郵便事業本部集配部は、本日（10月24日）「集配業務全社員年賀」の試行実施について地方本部に説明してきました。これは、年繁要求書の中で、試行局を明らかにするよう求めていたものです。

1 **本試行の趣旨**は、品質向上及び人件費の削減等をはかるため、「正社員年賀」による短期配達アルバイト「0」に加え、道順組立アルバイトについても「0」にする「集配業務全社員年賀」を一部の郵便局で試行実施するものです。

2 **本試行実施局**は（1）局全体実施・三条局及び諏訪局、（2）班単位実施・新発田局及び柏崎局としています。

3 **実施方法**は、

- （1）配達及び道順組立は、全課室の正社員、長期期間雇用社員により行なう。
- （2）局において、集配関係の作業に転換できる労働力を100%活用する。
- （3）区分機を最大限活用する。

4 **準備作業**について支社は9項目示しており、資料を参照願います。

地本は、信越では初めての試行実施であり、問題点も多く想定されることから以下について確認しました。

- ① 試行実施に当たっての条件及び上記局を選定した理由は。
- ② 旧郵便局会社の社員には、応援を要請するのか。
- ③ 具体的にどこの課及び室から応援を想定しているのか。
- ④ 要員配置計画はどの様に策定し、いつ説明するのか。
- ⑤ 2パス率向上を更に高めるための方策とは。また、試行局での2パス率の現状は。
- ⑥ 試行局の昨年度の「正社員年賀」の実施状況について。
- ⑦ 危機管理対策及び支社フォローについて。
- ⑧ 労使間の意思疎通についてどの様に進めていくのか。

これに対し支社は

① 試行実施については、6月に情報提供している通り、「趣旨や条件を示した上で、希望する局を照会する」としており、その結果上記4局で実施することとなった。

なお、実施条件は、1) 正社員年賀の実施、2) 区分機が自局配備、3) 局又は課・単位での実施であること、4) 年賀元旦2パス率が90%以上であること、5) 12月31日まで一般信の2パスを実施することである。

(新発田局・柏崎局は「班単位」で行ないたいとの意向であり承認した)

② 現在は郵便事業本部、郵便局本部制を取っており、年賀応援は行なわない。

③ 業務企画室、計画担当、郵便内務短期アルバイト等を考えている。

④ 想定業務量を勘案の上、集配社員配置を策定し、他課室社員の応援できる労働力配置を計画する。11月2日まで作成の年末年始要員配置計画で説明する。なお、試行の概要については本日以降、行なう。

⑤ 2パス率を高めるためには、配達資料整備をより万全にすることが重要。なお、試行局の転出入処理は即日行なわれている。また、昨年年賀の試行局の2パス率は全て90%以上となっており、一般信でも8月末までに84%以上を達成している。

⑥ 新発田局以外は全期間「正社員年賀」を実施。新発田局も今年度は実施の計画。

⑦ 試行局の業務運行を日々注視し、応援体制の見直しや必要に応じて、支社応援も行なう。

⑧ 趣旨及び自局の業務運行計画、要員配置計画について丁寧に労使対応を行ない、社員に対しても丁寧に説明し理解を深める。

また、地本では試行局の要員配置計画について注視し、繁忙期において過度な連続超過勤務とならない対応を要請するとともに、地本へも随時、情報提供するよう求めました。

【労使対応】 単局窓口